



▲ 1. あいさつをする鎌田観光協会長 2. 店内のパンフレットコーナー 3. 観光大使の加藤拓三さんが開店を祝って太鼓を演奏 4. 並べられている生クリは、市の特産品の一つ 5. オープンセレモニーの司会を務めた観光大使の宮嶋麻衣さん

市特産品を日替り販売
 「えなてらす」は、平成18年6月に、旧6市町村の観光協会が統合した市観光協会が運営しています。

「えなてらす」は、ことしの6月から約1千350万円を掛けて、1階部分を改修。営業時間は、年末年始を除いて、午前9時から午後6時までです。

そこで、タウンプラザ恵那1階にある観光案内所を、市内13地域の特産品や、ここでしか買えないオリジナルセット、季節の旬な食品などを集めて販売する物産館として「えなてらす」をオープンしました。これによって、市内の特産品が、まとめて買えるようになりました。

しかし、来場者からは「新恵那市の特産品は何ですか」「どこへ行けば買えますか」などの問い合わせが多く寄せられ、特産品販売所の設置が大きな課題でした。

タウンプラザ恵那は、平成11年4月の開設以来、市の観光案内所の役割を果たしてきました。JR中央本線で訪れる観光客と明知鉄道や東鉄バスを利用する観光客への総合案内所として、毎年約3万人の利用があり、昨年9月には、来場者30万人を達成しました。

高まるニーズに応える

ここでは、観光案内のほかに、東濃鉄道バスの回数券の販売や「トコトコ恵ちゃんバス」の運行もしています。ことしの10月から12月には、次のとおり恵那峡と13地域の「わがまちふるさとデー」を企画し、販売イベントを行います。

この日は地域の方を対象に、バスツアーも開催。市内観光の後に「えなてらす」で買い物ができます。市外の方ばかりではなく、市内の方にも当市の特産品を知っていただくチャンスです。

【わがまちふるさとデー】

- ◆10月
 - 大井町の日…9日(出)、10日(出)
 - 長島町の日…11日(出)
 - 上矢作町の日…16日(出)、17日(出)
 - 岩村町の日…23日(出)、24日(出)
 - 武並町の日…30日(出)、31日(出)
- ◆11月
 - 三郷町の日…6日(出)、7日(出)
 - 串原の日…13日(出)、14日(出)
 - 山岡町の日…20日(出)、21日(出)
 - 東野の日…27日(出)、28日(出)
- ◆12月
 - 明智町の日…4日(出)、5日(出)
 - 笠置町の日…11日(出)、12日(出)
 - 飯地町の日…18日(出)、19日(出)
 - 中野方町の日…23日(出)、24日(出)
 - 恵那峡の日…25日(出)、26日(出)



買い物客でにぎわう「えなてらす」の店内▲

観光物産館

「えなてらす」がオープン

恵那駅前の観光案内所「タウンプラザ恵那」の1階部分を改装して、9月17日に市内の特産品を一堂に集めた観光物産館「えなてらす」がオープンしました。当日には、オープンセレモニーが行われ、恵那観光大使の宮嶋麻衣さんの司会や加藤拓三さんの太鼓演奏があり、多くの来場者でにぎわいました。

「えなてらす」の名前の由来は「てらす」はラテン語で大地を意味し、市を明るく照らし、未来を創造していく思いが込められています。この愛称は、市民公募から選ばれました。物販機能をプラスすることで、観光地恵那をPRするとともに、観光客はもとより、広く市民にも訪れてもらう施設を目指します。

ここでは、オープンした「えなてらす」について紹介します。

□問い合わせ 市観光協会 ☎25-4058、観光交流室（内線531）



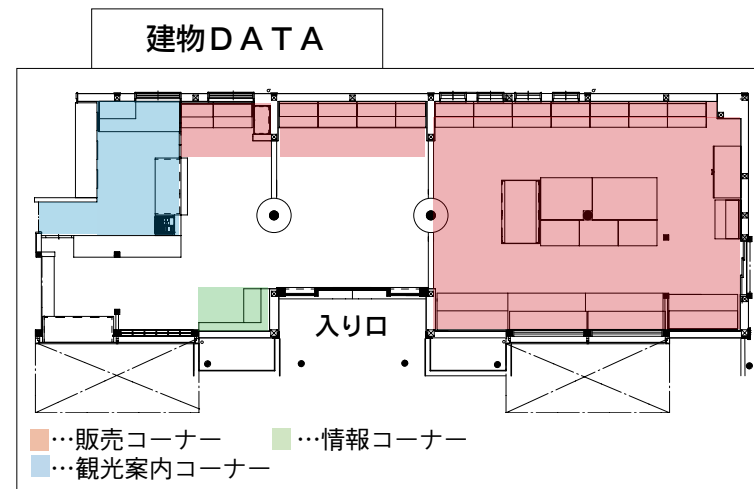


▲ 1. 地域ごとに特産品が勢ぞろい 2. 「えなてらす」に出展されている特産品の数々 3. クリともち米をセットにした「栗おこわセット」も同店のオリジナル商品 4. 市内の和菓子店の商品も取りそろえている 5. 市内13地域のコメを陳列

秋の味覚を食べ比べる
 当市は、秋の味覚の代表である「お米」の米どころ。恵那産コシヒカリなど、市内13地域の新米も販売しています。さらに、市内5地区の新米を2合ずつ詰め合わせた「新米食べくらべ」やもち米とクリの「栗おこわセット」も限定販売しています。地域の特産も加わり、えなの味覚がところ狭しと並べられ、皆さんのお越しをお待ちしています。



入り口正面には、オリジナル商品の「栗くらべ」を陳列▲



▶ 写真右からオープンした「えなてらす」の外観。栗くらべは、オープン初日で200箱を売り上げた人気商品

恵那の旬な味を食べる
 観光案内のほかに、市内の特産品が一堂に集結した「えなてらす」。左図のように、観光案内コーナーと物産販売コーナーがあり、恵那の特産品が手に入ります。市内の老舗和菓子店8店舗の栗きんとんを一つの箱に詰め合わせた「栗くらべ」を、毎日限定販売。そのほか、細寒天やハム、漬物など13地域の特産品を集め、四季を通じた恵那の味が楽しめます。



恵那の特産品が勢ぞろい